

## 聖餐の意味 1 (1コリント 11:23-24)

クリスチャンであっても、厳しい現実につまづき倒れ、ため息をつく人もいれば、同じ現実であっても、乗り越えて、そこに隠されている神様の祝福を見つける人がいます。そのちがいは、その人のなにかではなく、自分を見失うか、自分をしっかりと守るかという違いです。どんなに厳しい状況や環境であっても、そこにいるクリスチャンの自分を見失っていないのかに集中して、目を留めるようにしましょう。自分を見失わないように、イエス様がただひとつだけ残された儀式が、聖餐です。イエス様は旧約のすべての預言を成就されたので、旧約時代の儀式は、なくなりました。そして、新しい時代が開かれて、ただ聖餐式だけを守りなさいと言われてたのです。聖餐の告白を正しくすることこそが、世の中を生きていくうえで、だまされず、自分を見失わずにいられる鍵です。聖餐の告白の中にすべてが隠されているという意識を持って、聖餐の祝福を味わい、楽しみましょう。聖餐のポイント、イエス様が十字架で血を流され、からだを引き裂かれたことを現すことですが、その意味を正しく知らなければなりません。きょうの聖書箇所、コリント教会が意味をわからず、ただ飲み食いすることに対して、パウロが指摘しています。カトリックでは、聖餐式を政治の道具、また、戒めの道具にしてしまいました。そして、イエス様の十字架の苦しみばかりを強調して、弱く苦しむイエスばかりを前面に出し、復活を見ないように意味を曲げる傾向もあります。イエス様の十字架と復活を正しく理解すれば、サタンに勝つことができるすてきな勝利者になるので、サタンが攻撃するのです。

**聖餐の意味は、イエス様の十字架と復活を自分の人生の基礎とすることです。**私たちは、いままでの経験、学び、欲望、願い、または、社会、家庭のルール、きまりが基礎になっています。これを、イエスの十字架と復活の基礎に取り換える作業をしなければなりません。イエスの十字架と復活こそ、イエスがキリストだという一番の証拠です。聖餐を通して、イエスがキリストという信仰の上に自分を立たせるのです。

神のかたちに造られた祝福の存在であった人間が、悪魔にだまされて、解決不可能なろいの運命に縛られる人生になりました。自分の力では絶対に抜け出せない、不幸の人生を生きていくしかありません。その人間にとって、唯一の希望は、創世記 3:15 で約束された、蛇の頭を踏み砕く女の子孫です。それが、キリストであり、キリストだけが悪魔のしわざを打ちこわすことができるまことの王であり、罪を解決して、人生の根本を解決できるまことの祭司であり、罪ゆえに離れてしまった神様とふたたび出会うことができるまことの預言者です。そのキリストが来られて、キリストだというあかしで、十字架でのちを犠牲にしてください、三日目に

よみがえってくださいました。それがイエス様です。十字架と復活は、イエスがキリストだという証拠の中の証拠です。聖餐の告白は、イエスの十字架と復活によって、イエスは唯一の救い主、希望のキリストであると告白することで、それを人生の基礎にすべきなのです。

また、聖餐の告白は、**イエスはキリストとして、救いのみわざを完ぺきに完成されたことを告白することです。**イエス様がいちど十字架にご自分をささげてくださいることによって、永遠に、救いのみわざを成し遂げてくださいました。救いは、悪魔の手から完全に解放されることであり、神様に行くことができる道が開かれたので、神様から離れて生じたすべての問題が解決することであり、地獄と運命の力から解放されることです。イエス様が「完了した」と言われ、救いのみわざを完成してくださったので、それを信じる信仰だけでよいのです。世の中の法則ではなく、ただ、信仰によってのみ救われて、新しい人生に造り変えられます。これを人生の基礎とすることが、聖餐の意味です。いまは誰でも信仰によって生きるのです。すでに解決されたことだと、ほかの何にも捕らわれず、引がかかることなく、信仰によって受けるのです。

このように聖餐の意味を正しく知って、それを人生の基礎にして、**完全な救いが自分のところに届いたことを告白する**のが、聖餐です。パ



ンを食べ、さかずきから飲むことは、十字架と復活は「私のものです」と、自分の内に入れるということです。完ぺきですばらしい幸せ、天国、いのちの祝福が私に届いて、私のものであるということを示すのです。世界の基が定められる前から、神様は私を選んでくださっていて、福音を聞くようにされて、聞いて心から信じるようにしてくださったので、私のための十字架と復活だと信じて受け入れると、そのときから、完ぺきな祝福は、私のもとなります。信じて受け入れると、すべてを完了して、よみがえられて、いまも生きておられる万軍の主であるイエス様が、聖霊によって私の内側に入ってきてくれるのです。そして、いつまでも、離れることなく、永遠におられます。救いの祝福は、すべて私のものであるのです。十字架と復活を基礎として、聖餐の告白をして、自分は救いの祝福の主人公だと確認しましょう。

また、**聖餐の告白は、自分は幸せな者、祝福の存在だと宣言することです。**キリストから、救いから、幸せを見つけるようにしましょう。どんな現実でも、問題は終わりました。すでに神様の永遠の祝福をもらっています。神様が聖

霊によって、いつもともにおられ、すでに天の御国の国籍があり、だれも神様の御手から私を奪うことはないの、心配はいらないのです。これを、いつでも意識して、聖餐の告白をして祝福にあずかりましょう。

聖餐の告白を通して、自分の基礎はなになのかを点検しましょう。十字架と復活が基礎でないなら、悪魔に勝てないので、ほかのものはすべて取り去りましょう。そして、自分は幸せで、幸いな者だということに引かかることは、すべてチェックして捨てましょう。イエス様は知らなくてもよいと言われました。自分が幸いな者だと隠すようなものは、知らなくても良いのです。イエス様が血を流し、からだを引き裂かれて死なれ、その代価で買い取られた尊い自分であることを覚え、どんなことがあっても、私は幸いだ、自分を見失わないようにしましょう。そのための聖餐の告白です。なにも引かからず、なにも気にしないなら、新しいテーマが開かれます。自分を愛して見失わず、聖餐の祝福を楽しんで味わう勝利者になるようにお祈りします。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

### メッセージカード

1コリント 11:23-24 聖餐の意味

なるほど/真の勝利は、多くのことが必要なわけではない。常にイエスの十字架と復活を、人生基礎にすると、自分はずでに、永遠に祝福の人だと分かって、余計なことにつまずかずに、勝利の道に立てる。このことのため、聖餐を許されました。ならば/聖餐の意味を黙想し、過去の私を押し出そう。神の国が見られないように、捕らえるものを解き放とう。

### インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2016年2月28日)

#### 1 部礼拝: 監獄に行ったヨセフ (創 39:19-23)

信仰の中で出会いの祝福に感謝して、救いの内容と霊的世界の祝福を味わう契約を握って、人を生かし、現場を生かし、世界を生かすようにされて感謝します。みことばを祝福のみことばに、福音を福音に、私の人生を祈りで作る人になり、人を生かしますように。契約を握った祈りの人として、神様がともにおられる実際の祝福の証人として、呪いを祝福に変えますように。私に与えられる出会いそのものを祝福にして、人を生かす神様の絶妙な計画を成し遂げますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

#### 2 部礼拝: パロ王に出会ったヨセフ (創 41:37-40)

どんな問題も祝福になるしかない主の霊に満たされる奥義を悟らせて感謝します。救われた私に与えられた最高の答えである聖霊の満たしを、幼い時に、普段、危機の時にもいつも味わいますように。そして、神様が私とともにおられる祝福を未信者が見て、生かす証人になりますように。ポティファル、長官、パロ王がヨセフを助けて世界福音化した祝福が私の答えになる聖霊の満たしを味わいますように。今日から聖霊の満たしの力で生かしますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。